



# Brilliant ◆ 7



## JART人材育成委員会女性活躍推進班 中日本ブロック

JART人材育成委員会女性活躍推進班中日本ブロックは、ブロック内7県の女性技師の活動を支援し、各県の女性の会の連携を強化し、情報を共有することにより、『ワーク・ライフ・バランス』、『技術・知識の研鑽』、『人材育成』などの課題を検討し女性診療放射線技師が活躍できる職能を目指し活動を行っていきます。

中日本ブロックの女性診療放射線技師の◆キラ◆キラ◆の輝きを全国に向放っていきたいと思います。その思いから名称を“Brilliant◆7”とつけました。今後の活動をご支援くださいますようお願い致します。

## Voll. パネルディスカッション

### 妊娠中の業務について ～妊娠中のガイドライン作成に向けて～

座長 : 三重大学附属病院 落合 三奈恵  
ぎふ総合健診センター 吉川 典子

#### 【パネリスト】

刈谷豊田総合病院	水口 仁
名古屋市立西部医療センター	木俣 礼乃
岐阜厚生病院	小倉 早紀
ぎふ総合健診センター	金澤 聖子
松阪中央総合病院	川野 聡子
福井県済生会病院	岡田 香織
滑川病院	酒井 智美



今年4月に女性活躍推進法が施行され、301人以上の企業は『女性活躍推進の状況』を定量的・定期的に統一尺度で把握する措置が盛り込まれた。女性労働者数は年々増加しており、雇用者全体に占める割合も年々高くなり総務省統計局の労働調査によると平成18年では、雇用者総数(5,472万人)に占める女性割合は41,6%(2,277万人)です。しかし、依然として妊娠・出産による退職者数は多く、第1子出産を機に7割が退職しています(厚生労働省:第1回21世紀出生児縦断調査平成13年)。年齢階級別の労働力は出産・育児期に当たる30歳代をボトムとするM字型を描いています。

そこで今回は、20歳代後半から30歳代の障壁である妊娠・出産・育児のうち妊娠中の業務にスポットをあて妊娠初期から産休をとるまでの期間の働き方を検討します。今後経験豊かな技師を育成するための重要な課題と考え、今回は、様々な施設より妊娠経験のある女性技師、これから妊娠出産を迎える女性技師、妊娠中の業務をサポートした先輩・後輩技師や上司など様々な立場のパネリストの方々より『妊娠中の業務経験・妊娠中の労働時間・妊娠中に利用した制度・体調不良時の対応など』について意見をいただき、妊娠中の業務をどのように行っていくか妊娠中の女性技師と一緒に働く技師の両者が納得できるガイドラインの作成について、各施設が今後検討いただける契機となれば幸いです。

開催日時: 2016年11月5日(土) 10:00~11:30

開催場所: 鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパス

※中部放射線医療技術学術大会100年記念ホールにて開会式前に行います。ぜひ、ご参加いただけますようお願い致します。